

米作り体験(園庭でミニ田んぼ)からの 縄編みづくりに挑戦

1. 目的と経緯

本園では“明るくすこやかなよい子を育てる”ことを願い、“遊びと祈り”を重視し、保育を行っています。楽しい園生活を基盤とし、いろいろな人とのふれあいを大切にしながら、心に響く体験活動を目的に、地域の方々のお力をおかりし、温かな人間愛にふれる貴重な時間を過ごしています。

40年以上続く米作り体験の中で、ここ数年間、園庭でも日々観察できるように「ミニ田んぼづくり」をしています。今回は、収穫し終えた『藁』を使って、『縄編み体験』を行いました。

2. 内容

○園庭でミニ田んぼづくり



昨年度の年長さんから譲りうけたお米の種=『粳』から育ててみました



フリー参観のお母さんにも手伝ってもらい、6月にミニ田んぼのお田植をしました



ミニ田んぼにも『かかし』を立て、無事に育ち、稲刈りの時期を迎えました

○「私のおいしいちゃん、藁で編めるよ！」園児の祖父来園 『縄編み体験』



3. 成果と課題

- ・米作りの過程を学んできた子ども達にとって、『縄編み体験』の活動を通し、生活に基づいた昔からの知恵を体験することができました。
- ・おじいちゃんの手で、藁がどんどん長く縄になる様子に驚き、教えてもらいながら子ども達の小さな手で一生懸命に挑戦していました。
- ・おじいちゃんから、プレゼントされた『しめ縄』を使って、一人ひとりの自由な発想で『お正月飾り』を製作することができ”元気いっぱい的一年生になれますように“と家に持ち帰り、玄関に飾られました。
- ・後日、お礼のお手紙を書きました。このような活動を通して、子ども達の思いが文字を書くことへの意欲につながっていくと感じました。

